

新医学系指针对応「情報公開文書」改訂フォーム

単施設研究用

多発性骨髄腫における整形外科及びリハビリテーション介入の有用性についての検討

1. 研究の対象

今まで当院で多発性骨髄腫の治療を受けられた方

2. 研究目的・方法

多発性骨髄腫は中年以降に好発する血液腫瘍の代表的な病気であり、その主な病変は全身の骨に及びます。骨の病変は日常生活に支障が出ることが多く、また好発年齢が高齢者であり、リハビリテーション介入による体力や運動機能の維持が重要であると考えられます。しかし、現在のところ治療は薬物療法となっており、その主たる治療科は血液内科であることがほとんどです。主治療科とリハビリテーション科ないし整形外科間で連携が不十分である場合、防ぎ得た骨折の発生をはじめ、化学療法前後で日常における運動の機能が著しく低下する事態が予想されます。

本研究ではがんロコモ（がんやその治療による体力、運動能力の低下）予防の試みの一環として、これまで注目されることの少なかった多発性骨髄腫に対する多診療科連携の実態について明らかにし、適切な方法について検討することです。

方法として、多発性骨髄腫に対して新しく治療を行う時に、整形外科・リハビリテーション部で診察を受けていただき、治療開始時点（入院）での全身の骨の状態、体力や運動の機能について検査を行います。また、入院中は体力・運動機能維持のためのリハビリテーションを行います。その後、退院して外来で治療を継続する際、3か月毎に体力・運動機能の確認を行います。

また、今まで当院にて多発性骨髄腫で治療を行った方のカルテから、整形外科及びリハビリテーション受診の有無、行った画像検査の内容、骨の病変の有無を確認します。

〈研究機関〉

研究機関の長の実施許可日～2030年3月31日

〈利用又は提供を開始する予定日〉

利用又は提供を開始する予定日：2025年5月10日

3. 研究に用いる情報の種類

・化学療法開始前後の10m歩行時間、6分間歩行距離、ロコモ25（アンケート）
等

・情報：病歴、抗がん剤治療の治療歴、カルテ番号 等

4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。
ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、
研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の
方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出くだ
さい。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

〒783-8505

高知県南国市岡豊町小蓮 185-1

高知大学医学部附属病院整形外科学講座 中前杏

TEL：088-880-2386

研究責任者：

高知大学医学部附属病院整形外科学講座 中前杏